

(c) 駐車場整備計画

施設内の駐車場については、来場者用の駐車スペース（約 3,200 台）を設置する計画であり、来場者想定に基づいた自動車の時間帯別交通量及び滞在時間を考慮して、必要駐車台数を以下に示す方法で算出した。

- 交通量は、繁忙期・休日・大規模イベント開催時を前提とした。
- I R施設はカジノのみ 24 時間営業とし、類似施設の実績を基に、自動車で来場するカジノ利用者は平均 5 時間駐車するものとした。
- 自動車で来場する宿泊者については、全車両が終日駐車するものとした。
- カジノ利用者及び宿泊者以外の来場者の自動車については、午前 1 時から 5 時までの時間帯に入退場がないものとした。

以上の前提条件を踏まえ、時間帯別の来場台数と退場台数を差し引きして必要駐車台数を算出した。駐車場位置・台数等は図 1.2.7 に示すとおりである。



図 1.2.7 駐車場の位置・台数等

(d) 船舶運航計画

(7) 施設計画

事業計画地北側に、浮棧橋（延長：約 40m）とその東西にそれぞれ約 90mの防波堤（総称して係留施設という）を検討している。今後、詳細の計画を検討する予定である。

(イ) 運航計画

運航先は、関西国際空港や大阪の臨海部などを想定しているが、運航経路、発着回数、運航時間等も含め、今後、詳細の計画を検討する予定である。

1.2.5 工事計画

(1) 工事工程

本体工事の想定工事工程は表 1.2.5 に示すとおりである。

工事は事業実施に必要な区域認定、都市計画手続き、その他手続きを経て、2023 年度春～夏頃の工事着手、2029 年度夏～秋頃の全体工事完了を想定している。

表 1.2.5 工事工程（想定）

年 次	1	2	3	4	5	6	7
準備・土工事							
建築工事							

(2) 工事用車両の走行ルート

工事用車両の主要ルートは図 1.2.8 に示すとおりであり、幹線道路や高速道路利用を優先することとし、特定の道路に集中することがないように配慮する。具体には、主として阪神高速道路と幹線道路を利用し、此花大橋、夢舞大橋及び夢咲トンネルを経由して事業計画地に至る経路を計画している。また、同時期に万博事業やインフラ工事等が集中する場合、調整を行い、走行ルートに車両が集中することがないように配慮する。なお、夢洲内の走行ルートは、今後変更の可能性はある。

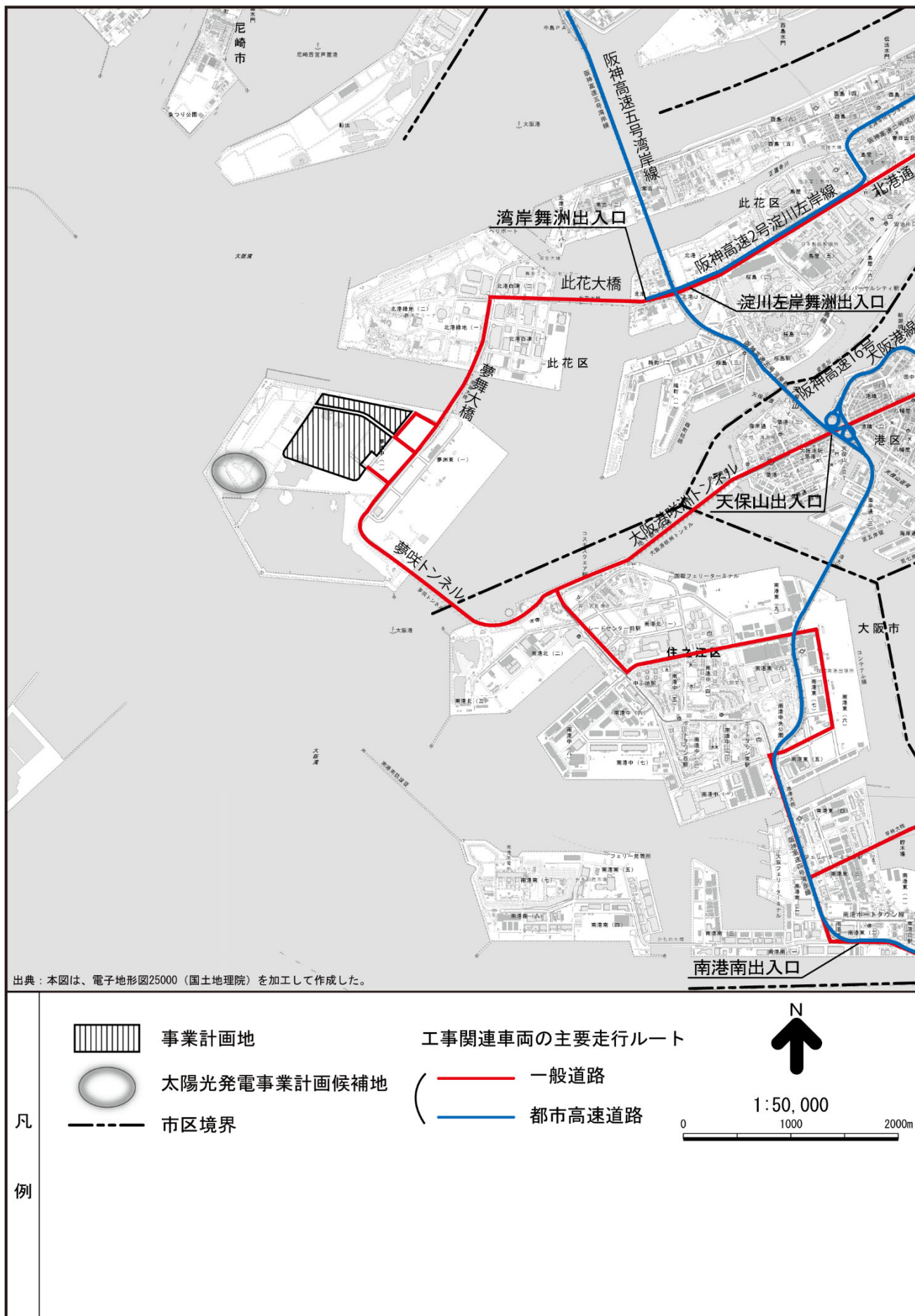


図 1.2.8 工事用車両の主要走行ルート

(3) 工事関連車両削減の配慮等

工事関連車両の通行による一般交通への影響低減のため、以下の車両削減策を講じる計画である。

- ・ 工事関連車両の運行にあたっては、特定の道路及び時間帯に集中することがないように、走行ルート of 適切な選定、通行時間帯の配慮、輸送方法の工夫、運転者への適正走行の周知徹底等を行う。
- ・ 工事関連車両の走行台数削減を図るため、パークアンドライドや公共交通機関の積極的な利用による作業員の輸送、船舶による資材搬入等についても計画している。
- ・ 船舶の運航計画については、港湾管理者（港湾局・海上保安庁）等と協議の上、安全な交通計画を立てる。現時点で想定する工事中の船舶の運航ルートは図 1.2.9 に示すとおりである。
- ・ 事業計画地周辺では、多くの物流車両が走行しており、さらに万博の工事や開催時の状況次第で、やむを得ず夜間に搬出入及び工事を行うことも想定している。夜間工事を行う場合には、警察、道路管理者等の関係機関と協議・調整の上、低公害型建設機械の採用、振動の少ない工法の採用、工事関連車両の制限速度の順守、空ぶかしの防止、アイドリングストップの励行など運転者への適正走行を周知徹底する。



図 1.2.9 船舶の想定運航経路（工事中）